

一般質問

写真のマスクについては基本的には着用とし熱中症予防のため外すときがあります



若者の地元定着は最重要の課題、人口ビジョンにおける人口減少対策

問 第2期人口ビジョンでは「若年層そのものの数を増やさないと、出生数の増加、ひいては自然動態の改善へと結

びつかない」と結論づけている中で、高校生のための就職ガイダンスでのUターン者の講演を高校側が拒否していると聞くが、市長自ら県の教育委員会や私学関連組織に出向き実社会経験者の講演を訴えるべきである。積極的な要請の働きかけをお願いしたい。

答 Uターン者の講演については、これから就職しようとする生徒に対して、戻ってくることを前提としたUターンに関する内容は慎重に考えるべきだという意見もある。引

き続き協議していきたい。

再発言 選択できる情報をより多く当事者に提供することが一番重要である。

若者が出て行ってしまえば高校側も困るし、地元学生のパイがどんどん減ってなくなる。Uターンは悪いことではない。企業情報も含め、生徒なりに把握し決定する。

国も一極集中を懸念し、地方分散を期待して地方創生を推進している中、公的機関がこれを拒否するのではなく、市長自ら取り組んでほしい。



土地の有効活用

問 土地利用の規制について、撤廃や緩和ができないか。

答 線引き制度は継続するが、地域の特性に応じてきめ細や

かなまちづくりを行う場合には、必要に応じた規制や緩和を行いながら良好な都市環境の維持や形成を図る。

再発言 地区計画制度をはじめ、活用できる制度を取り入れ、地域の特性に対応した有効的な土地利用計画や整備を行ってほしい。

新型コロナウイルス感染症対策

問 災害時の避難所の対応は。

答 昨年度よりも早めの開設、避難所の増設、避難者が少な

い避難所への誘導など、避難者の分散を図っていく。また、2次的避難所として車中泊用の駐車場や民間施設活用を協議し確保に努めているところ。

問 避難所の状況等の周知は。

答 これまでどおりの周知方法に加え、FMたんとと連携し、情報を小まめに発信する。

再発言 感染予防を気にし過ぎて、避難者を受け入れない事のないようにされたい。

避難所運営に地域の協力は不可欠であり、考え方を共有し連携して取り組まれない。



水道料金収入の減少と水道施設の急速な老朽化・耐震化の課題解決に向けて

問 今後の懸念材料を踏まえた上での老朽更新事業計画及びその事業費の財源見通しは。

答 老朽更新事業には、多額

の費用も想定されることから、事業費の財源は国の補助事業などを積極的に活用したい。

問 鉛製給水管布設替え計画の策定状況、この計画に基づく鉛製給水管の早期解消に向けた対策事業の進捗状況、今後の布設替えスケジュールは。

答 2015年度から5年間で約1,900件の布設替えを行っているが、今後は布設替えにより力を入れていく必要があることから、老朽管更新計画の見直しや経営戦略の策定と併せて鉛製給水管の更新計画を

今年度に策定する予定。

下水道施設の急速な老朽化と人口減少に伴う厳しい経営環境の課題解決に向けて

問 市の下水道使用料は県内4番目の高さとなっている。コスト削減・使用料収入増に向けた取組及び経営比較分析表の経営指標の一つである経費回収率の今後の見通しは。

答 収入増に向け、下水道に接続していただくための水洗化の促進に力を入れていきたい。今後も経費回収率100%以上の維持に努めていきたい。